樹木健全度調査初期診断・詳細診断データ

別紙3

通し番号	調査年月日			調査者	基本情報								生育状況																	
													樹木形状													活力状況				
	年	月	日		樹木番号	コード	公園緑地名	樹種名	場所	植栽年	管理履歴	前回調査年	樹高	幹周	幹直径	枝張り	枝下高（歩道）	枝下高（車道）	不自然な傾斜	樹高/幹径	50以上	枝長/枝径	40以上	樹齢（約）	樹冠形状	樹勢	葉の生育状況	傷口材の成長	病害	病名
99	2024	10	17		RA0452	GP0003	紫金山公園	ヤナギ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	10.9	1.50	0.48	13.0	1.4	－	無	23		40≦	40以上	20	人工樹形	普通	普通	普通	無	
100	2024	10	15		RA0461	GP0003	紫金山公園	ヤマモモ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	6.6	0.98	0.31	6.8	1.8	－	無	21		40≦	40以上	50	人工樹形	普通	普通	普通	無	
101	2024	10	15		RA0464	GP0003	紫金山公園	コナラ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	15.6	2.29	0.73	7.6	－	－	無	21		30		50	人工樹形	普通	普通	普通	無	
102	2024	10	15		RA0468	GP0003	紫金山公園	クヌギ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	20.0	1.33	0.42	7.0	10.0	－	無	47		40≦	40以上	50	人工樹形	普通	普通	普通	無	
103	2024	10	17		RA0471	GP0003	紫金山公園	アラカシ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	9.0	1.91	0.61	9.7	0.9	－	無	15		40≦	40以上	50	人工樹形	普通	普通	普通	有	紫かび病
104	2024	10	17		RA0475	GP0003	紫金山公園	コナラ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	20.0	1.59	0.51	11.6	15.0	－	無	39		40≦	40以上	50	人工樹形	普通	普通	普通	無	
105	2024	10	17		RA0481	GP0003	紫金山公園	アベマキ	吹田市岸部北・五月が丘東	1973	不定期(必要に応じ)	2015	15.2	1.60	0.51	9.6	6.8	－	無	30		40≦	40以上	50	人工樹形	普通	普通	普通	無	

樹木健全度調査初期診断・詳細診断データ

別紙3

			地上部の弱点																														
			枝			枝			枝			枝			枝			枝			枝			枝			枝			幹			
			結合部			結合部			結合部			本体			本体			本体			本体			バランス			頂上枝			本体			
通し番号	虫害	虫名	幹との結合部の腐朽(子実体)			樹皮を巻き込んだ結合			穿孔害虫			枯れ枝			ぶら下がり枝			腐朽・空洞・樹皮の枯死等			亀裂			枝葉の偏り(ライオンテイル)			主幹切断部の腐朽			開口空洞			
99	有	不明種フラス	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無
100	無		無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			有（小）
101	無		無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無
102	無		無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無
103	無		無			無			無			無		5本、地上3.0m、枝直径10cm、枝長2.5m(最大)	無			無			無			無			無			無			有（小）
104	無		無			無			無			無		5本、地上5.6m、枝直径17cm、枝長5.0m(最大)	無			無			無			無			無			無			無
105	無		無			無			無			無		4本、地上7.2m、枝直径12cm、枝長2.5m(最大)	無			無			無			無			無			無			有（小）

樹木健全度調査初期診断・詳細診断データ

別紙3

通し番号	幹				幹				幹				幹				幹				幹				根株				根株			
	本体				本体				本体				本体				本体				結合				昆虫				本体				本体			
	腐朽(子実体)				亀裂				樹皮枯死・欠損				隆起				打診音異常				不完全な結合				昆虫				腐朽(子実体)				鋼棒貫入異常			
99					無				無				無				有（小）	D	地上0～04m		無				無				無				有（小）	D	5cm/65cm（芯未達）
100	D	地上2.1m、8cm×6cm、周囲長比＜1/3（芯未達）			無				無				無				無				無				無				無				無			
101					無				無				無				有（小）	D	地上0～0.5m		無				無				有（小）	D	50cm×50cm、不明種、周囲長比＜1/3（芯未達）、マンネンタケ		無			
102					無				無				無				無				無				無				無				無			
103	D	地上1.2m、11cm×3cm、周囲長比＜1/3（芯未達）、地上0～3.0m、不明種、300cm×40cm、周囲長比≧1/3（芯未達）			無				無				無				無				無				無				無				無			
104					無				無				無				無				無				無				有（小）	D	80cm×8cm、周囲長比＜1/3（芯未達）		無			
105	D	地上1.7～2.3m、60cm×20cm、周囲長比≧1/3（芯未達）			無				無				無				無				無				無				無				無			

樹木健全度調査初期診断・詳細診断データ

別紙3

通し番号	地下部の弱点																												野生動物の利用
	根株			根株			根株			根株			根株			根株			根系			根系			根系			根系			根系			根系			
	本体			本体			本体			基盤			基盤			昆虫			露出根			露出根			露出根			地中根			地中根			地中根			地中根			地中根			
	根株の切断			ガードリングルート			縁石の巻き込み			樹体の揺れ			土壌との隙間			昆虫			露出根の切断			露出根の腐朽			露出根皮の枯死・欠損			土壌の盛り上がり			特殊な植栽基盤			土壌の流出			土壌の固結			周辺工事の影響			
99	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			
100	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			
101	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			
102	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			
103	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			
104	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			
105	無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			無			

樹木健全度調査初期診断・詳細診断データ

別紙3

通し番号	外観評価				詳細診断						総合評価	所見	改善的処置	所見	伐採判定の主な理由	伐採判定木	簡易から実施
					地上部				地下部								
	生育状況	危険度		所見(詳細診断の必要性)	腐朽割合(%)		健全材厚の割合		根系の腐朽割合(%)								
99	B	D	有り	打診音異常・鋼棒貫入異常ともに小さいが、内部で腐朽が進行している可能性があるため、根元高さ0.1mで実施。	A	0.8					B	打診音異常・鋼棒貫入異常があるものの、根株の腐朽割合は0.8%で、倒木等の危険性は低い。					○
100	B	D	有り	幹に腐朽があり、地上高さ2.1mで実施。	B	17.9					C	幹に腐朽があるものの、腐朽割合は17.9%で危険性は低い。					
101	B	D	有り	根株にマンネンタケがあり、根元高さ0.2mで実施。	D	40.6					E	根株にマンネンタケが付着し、根株の腐朽割合は40.6%でやや高い。樹高が高く、周囲への影響も大きいことから危険性は高いと判断し、伐採する。	伐採	倒木等の危険性が高い。		○	○
102	B	B	有り	今回弱点は確認されなかったが、前回診断で腐朽が確認されており、根株で実施。	C	30.3					C	根株の腐朽割合は30.3%で前回診断時(2016年)より増加しているものの、現状では倒木等の危険性は高くない。					
103	B	D	有り	子実体が発生している幹は根元で切除する必要が明らかであるが、腐朽があるもう1本の幹は地上高さ1.2mで実施。	B	11.9					C	支幹に開口空洞があるものの、腐朽割合は11.9%で倒木等の危険性は低い。					
104	B	D	無し	根株に腐朽があるが、範囲が限定的でありすぐに倒壊する程の危険性はない。							D	根株に腐朽があるが、現在は範囲が限定的でありすぐに倒壊する程の危険性はないが、今後観察が必要。	剪定	枝長/枝径40倍以上・枯れ枝			○
105	B	D	有り	幹に腐朽があり、地上高さ2.1mで実施。	C	26.7					C	支幹に広範囲の腐朽があるものの、腐朽割合は26.7%で折損の可能性は高くない。					○